

2026 年度 第 6 回全日本大学サッカー新人戦北海道大会要項

1. 主 旨 「2026 年度第 10 回全日本大学サッカー新人戦」に北海道代表として出場するチームを決定すること。さらに、北海道学生サッカー界の総合的なレベルアップに寄与することを目的とし、本大会を実施する。
2. 名 称 2026 年度 第 6 回全日本大学サッカー新人戦北海道大会
3. 主 催 (公財) 北海道サッカー協会、北海道学生サッカー連盟
4. 主 管 北海道学生サッカー連盟、(一社) 札幌地区サッカー協会、旭川地区サッカー協会、北空知地区サッカー協会
5. 協 力 株式会社ミカサ、株式会社ジールコミュニケーションズ
6. 期 日 予選ラウンド：2026 年 8 月 1 日(土)、22 日(土)、29 日(土)
決勝ラウンド：2026 年 9 月 13 日(日)、11 月 1 日(日)、8 日(日)
7. 会 場 北海道教育大学岩見沢校、白旗山競技場、札幌サッカーアミューズメントパーク、東雁来公園サッカー場、東光スポーツ公園、札幌国際大学、他
8. 参加資格
 - (1) 各チーム所属の地区サッカー協会を通じて、(公財) 日本サッカー協会への第 1 種登録を完了した単独の大学の学生をもって構成されたチームであること。
 - (2) 全日本大学サッカー連盟及び北海道学生サッカー連盟への加盟登録を完了したチームであること。
 - (3) 日本サッカー協会、全日本学生サッカー連盟及び北海道学生サッカー連盟への個人登録を完了した選手のうち 1、2 年生で構成されるチームであること。
 - (4) 外国籍を有する選手のエントリーは、1 チーム 5 名以内とし、試合出場は 3 名までとする。
 - (5) ベンチ入りスタッフは(一財) 全日本大学サッカー連盟に登録されているものとする。原則として、登録チームは学生以外の監督の登録を義務付ける。ただし、やむを得ず学生を監督として登録する場合は所属大学から了承を得ることとする。また、その旨を北海道学生サッカー連盟へ報告するものとする。
9. 組合せ
 - (1) 組合せについては、北海道学生サッカー連盟において決定するものとする。
 - (2) 予選リーグを実施した後、8 チームによる決勝トーナメント戦を実施する。
 - (3) 予選リーグは、4 ブロックによるリーグ戦を実施する。リーグ編成は 2025 年度第 44 回北海道学生サッカーリーグの最終順位を基にしてポッド分けする。
 - (4) 決勝トーナメントは、各ブロック 2 位が進出する。
10. 競技規則
 - (1) 2026 年(公財) 日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
 - (2) 脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
 - 1) 1 試合において、各チーム最大 1 名の脳震盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳震盪交代」という)を使うことができる。
 - 2) 脳震盪交代は、その前に何人の交代が行われているにかかわらず、行うことができる。
 - 3) 相手チームが脳震盪交代を使用した場合は、自チームは「追加交代」として 1 名を交代させることができる(この場合の交代理由は脳震盪であるか否かを問わない)。
 - 4) 脳震盪交代および追加交代は、通常の交代の回数制限とは別に取り扱われる。
 - 5) 脳震盪交代、追加交代および通常交代のうち 2 種類以上の交代を同時に行った場合、それぞれの種類の交代につき、1 回ずつ交代したものとしてカウントされる。
 - 6) 脳震盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行わなければならない。
 - (3) 警告を 2 回受けた選手は次の 1 試合に出場できない。また、主審により退場を命ぜられた選手・役員は次の 1 試合の出場を停止し、以後の処置については規律委員会にて裁定する。ただし、この処分の適用は本大会内に限る。

11. 競技会規定

- (1) 本部にメンバー用紙を提出する際には、メンバー用紙に記載されている選手の「(公財)日本サッカー協会発行選手証(写真貼付)」を同時に提出しなければならない。したがって「選手証」のない選手は、メンバーとして登録することができない。
※選手証とは、KICKOFF から出力した「選手証」または「登録選手一覧」を、印刷したもの。
(また、スマートフォンやPC等の画面に表示されたものでも可)
- (2) 競技者の数
 - 1) 競技者の数：11名
 - 2) 交代要員の数：9名
 - 3) 交代の数：9名
 - 4) ベンチ入りできる役員の数：8名
- (3) 棄権チームの処置は下記の通りとする。
 - 1) 大学から許可が降りないことによる試合の辞退に関しては原則罰則を課さない。
 - ① 大学から許可が降りない場合、その試合を当該チームで協議の上、別日程で実施することは認める。その際、会場の手配、審判の手配は各チームで行うこと。
 - 2) その他の理由により試合を棄権した場合は、北海道学生サッカー連盟の規律委員会が状況を調査し、理事会において、その後の処置について検討する。なお、特段の理由によって試合が実施できない場合は理由書を競技委員会に試合実施2週間前までに提出すること。
 - 3) 棄権があった場合、棄権したチームは対戦相手に発生した金銭的負担を負う。
 - 4) 棄権チームは速やかに競技委員長に連絡し、棄権による金銭的負担が最小限となるよう努める。ここでいう金銭的負担とは相手チームの交通費、宿泊費を指すが、大会役員、審判員に及ぶことがある。
- (4) 試合用の通信機器は学連への申請なしに使用することはできないものとする。
- (5) 不測の事態によるレギュレーションの変更等については、特別委員会を設置し検討する。委員会委員は理事長、副理事長、競技委員長、技術委員長、その他理事の中から必要に応じて招集できる。
- (6) グラウンド上でのガムを含む食事はその一切を禁じる。

12. 競技方法

- (1) リーグ方式により予選を行い、その後トーナメント方式により優勝以下第3位までを決定する。ただし、参加チーム数によって変更することがある。
- (2) 試合時間は、90分とする。なお、ハーフタイムのインターバル時間は15分を原則とするが、会場により異なることがあるので、代表者会議において決定すること。
- (3) 予選リーグの順位は、下記の順により決定する。
 - 1) 勝点(勝：3点、引き分け：1点、負け：0点)
 - 2) 全試合のゴールディファレンス(総得点－総失点)
 - 3) 全試合の総得点数
 - 4) 当該チーム同士の勝敗
 - 5) フェアプレーポイントにより決定する。
イエローカード(警告)をもらうとマイナス1。1試合で同じ選手がイエローカード2枚＝レッドカード(退場)をもらうとマイナス3。一発レッドカード(退場)となるとマイナス4。イエローカード1枚のあとにレッドカードをもらうとマイナス5。
- 6) くじ引き
- (4) 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合は決勝戦を除いて、ペナルティキック方式により次回戦進出チームまたは第3位を決定する。また、決勝戦は30分(15分ハーフ)の延長戦を行い、決しない場合にはペナルティキック方式により優勝チームを決定する。
- (5) 予選リーグにおける警告は、決勝トーナメントに持ち越さない。
- (6) 棄権により試合が実施できない場合は、棄権したチーム(Bチーム)の不戦敗とし、対戦相手(Aチーム)の不戦勝とする。
 - 1) Aチームに勝ち点3を付与する。
 - 2) 3-0でAチームの勝利とする。
 - 3) その他、Bチームには規律委員会より追加の処分が下されることもある(勝ち点没収など)。

13. 参加申込

- (1) 北海道学生サッカー連盟登録における個人情報に関する同意書を提出済みであること。
- (2) 参加申込書とプログラム原稿に登録できる人員は、顧問および部長、監督、主務、その他スタッフ及び選手とする。また、参加申込書のポジション記入欄には GK、DF、MF、FW と記入すること。
- (3) 参加登録書のデータを下記の期日までに提出すること。

締切日：2026 年 6 月 21 日(日) 18 時

14. 参加料

- (1) 30,000 円（参加チーム数により変更する可能性がある）
- (2) 参加料は、2026 年 6 月 22 日（月）～7 月 3 日（金）までに北海道学生サッカー連盟口座に振り込むこと。
- (3) 参加料振り込み後は必ず下記連絡先に、大学名、入金額の報告を行うこと。
総務委員長 高木 真一 takagi-s@ofc.sapporo-u.ac.jp
- (4) 参加料の返金は一切行わない。

15. ユニフォーム

- (1) ユニフォームについては、（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守し、所属地区サッカー協会を通じて、（公財）日本サッカー協会に登録されたものを原則とし、必ず選手固有の背番号・胸番号を付けること。なお、参加申込書送付以後の背番号・胸番号の変更は認めない
- (2) ユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうち、シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。
- (3) チームは、代表者会議時に正・副 2 組ユニフォームを持参しなければならない。
- (4) 主審が、対戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており判別しがたいと判断した時には、主審が両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定することができる。
- (5) 前項の場合、主審は両チームの 2 組のユニフォームから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (6) ソックスの上にテープなどを貼り付ける、または外部に着用する場合、着用するソックスの色と同じ色か透明のものでなければならない。

16. 表彰

- (1) 優勝チームおよび準優勝チームには、表彰状を授与する。

17. 経費の補助

- (1) 旅費・宿泊費などの経費は、全て参加者負担とする。

18. 代表者会議

- (1) 試合開始 60 分前に運営本部にて代表者会議を行う。参加者は、当番校運営責任者、審判員及び両チーム代表者とする。
- (2) なお、チーム代表者は選手証、メンバー表及び正・副のユニフォームを持参すること。また、運営責任者は試合開始 60 分前になっても、当該試合のチームの代表者の出席が確認されなかった場合、必ず競技委員長に連絡すること。

19. 帯同審判

- (1) 各チーム 4 名の審判資格取得者が在籍していること。
- (2) 決勝に関しては、主審・副審 2 名を審判を派遣し、4 審のみ帯同審判となる。その他の試合に関しては、原則として主審のみの派遣となる。各チームは常に副審・4 審を出せるように準備しておくこと。
- (3) 北海道学生サッカー連盟 HP に掲載されている日程表に記載されている割り当て通りに審判を担当すること。
- (4) チームの試合に帯同した学生が審判をした場合、審判料のみを支払う。他会場で審判をする場合は、別途交通費を支払う。

20. 懲罰

- (1) 本大会は、（公財）日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、本大会に係る懲罰問題を処理するため大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会における懲罰事案については、（公財）北海道サッカー協会から懲罰権の委任を受けた同

大会規律委員会が懲罰を協議する。

- (3) 大会規律委員会は、大会競技委員長、北海道学生サッカー連盟規律委員長、審判委員長、理事長、副理事長により構成される。なお、大会規律委員長は、北海道学生サッカー連盟規律委員長とする。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会で決定する。
- (5) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の試合に出場できない。
- (6) 前項(5)により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了後に、警告の累積は消滅する。
- (7) 本大会の大会規律委員会は、出場停止処分2試合までの懲罰問題を処理する。
- (8) 本大会終了時点で未消化の出場停止処分は、当該チームが出場する直近の北海道学生サッカー連盟公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (9) 試合開始時は、原則1チーム11人で開始することが望ましいが、競技規則に則り、7人以上いれば試合を開始することができる。その際、怪我、退場等による人数減についての対応も競技規則に則って行われる。11人で行えない試合を繰り返した場合、大会規律委員会での協議、検討事項とすることがある。
- (10) やむを得ない事情があつて試合会場へ行けない、もしくは試合開始時刻に間に合わない場合には必ず競技委員長に電話連絡をすること。試合開始時刻60分前の代表者会議においてメンバー表、選手証及びユニフォームの提出がない場合には、当該チームを棄権とすることがある。
- (11) 主審、副審および4審(全て代理含む)が代表者会議に遅刻した場合、大会規律委員会での協議し、懲罰の検討事項とすることがある。

21. その他

- (1) 優勝チームは、「2026年度第10回全日本大学サッカー新人戦」に出場する義務を負う。
- (2) 北海道学生サッカー連盟規範に不適切な行為があつた場合には、北海道学生サッカー連盟が調査した上で、規律委員会において処分を検討し、理事会にて決定する。
- (3) 大会中の事故(交通事故、怪我、器物破損ほか)はすべて当該チームで処理しなければならない。
- (4) 大会参加に当たり各チームは、大会参加前にスポーツ障害保険に加入手続きを済ませること。
例：(公財)スポーツ安全協会北海道支部 TEL 011-820-1709
- (5) 荒天・震災・雪等、不測の事態が発生した場合には、本大会競技委員会(競技委員長、審判委員長、大会担当理事等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期する場合があることを留意すること。

※試合中止、中断など有事の際は競技委員長(090-1485-6276)まで

以上